

以森伝心

理事長 柏原康夫 筆

No.

42

京都の森を守り育てる運動に参加しませんか

巻頭特集

百年先の

美しさを生み出す

庭づくりから森づくりへ

■京都の森の仲間たち

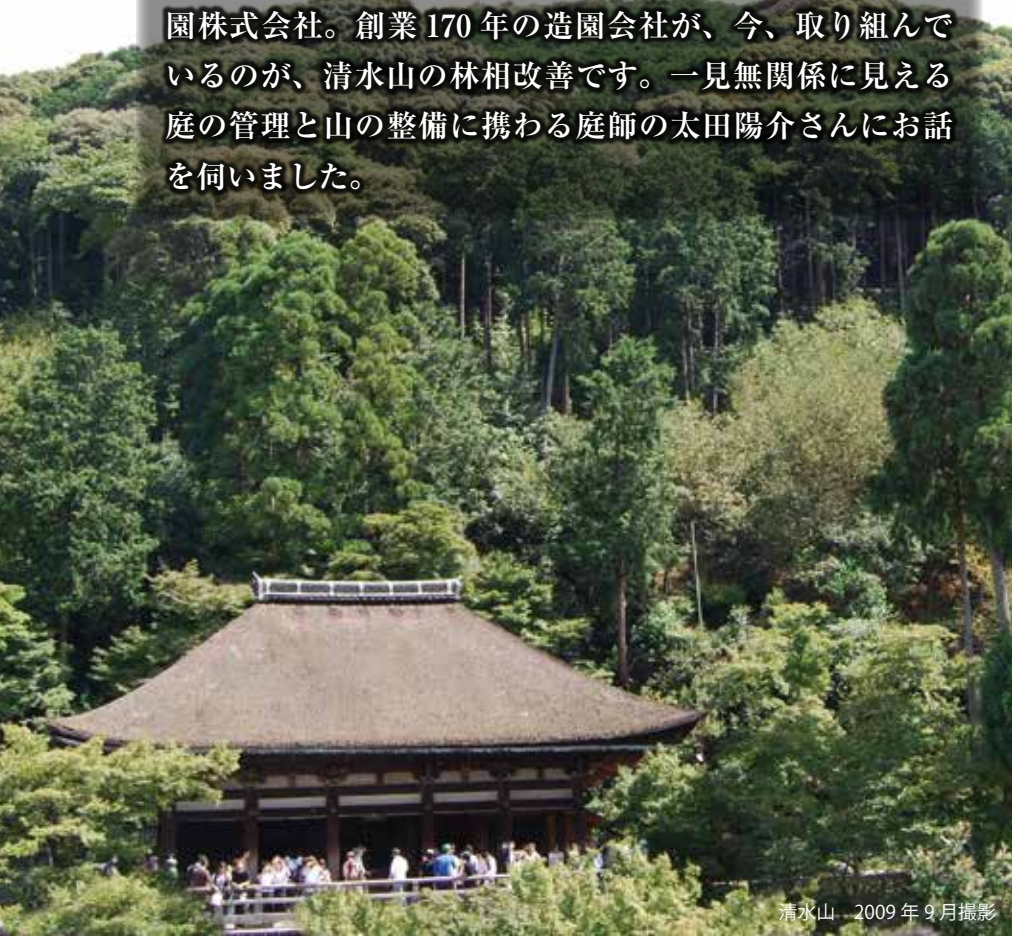
美山宮島杉人の会

■企業参加の森林づくり

■豊かな森を次世代へ

森の出前授業

庭園の作庭や管理はもとより、南禅寺などの文化財庭園の修復作業や京都府立けいはんな記念公園、山縣有朋の別邸である名勝無鄰菴では、指定管理者として経営まで担い、“庭”に関する業務を幅広く展開する植彌加藤造園株式会社。創業170年の造園会社が、今、取り組んでいるのが、清水山の林相改善です。一見無関係に見える庭の管理と山の整備に携わる庭師の太田陽介さんにお話を伺いました。



清水山 2009年9月撮影

百年先の 美しさを生み出す 庭づくりから森づくりへ

庭師 太田陽介（植彌加藤造園株式会社）

山へ入るきっかけは 庭の景色づくり

庭園は限られた空間に植物や石・水などを配し、自然の美しさを堪能するために人の手によって造り出された芸術的ともいえる空間です。

そこには施主の想い、山や海といった自然への憧憬が、庭師の技術と感性により表現されています。国が優れた庭園として文化財保護法に基づいて指定したものを「名勝庭園」といいます。全国に名勝庭園と呼ばれる庭園は225ほどあり、そのうちの約四分の一が京都市に集中しています。

太田さんが現場担当を務める、東本願寺の飛び地境内地（別邸）「渉成園」も明暦年間（1650年代）に作庭されたといわれる歴史ある名勝庭園です。

「庭園は人の手で作り出されたものですが、そこに生える草や植えられた樹木は、もちろん命あるものとして、陽光を受け大地に根付き、日々成長していきま



今回取材させていただいた太田陽介さん

す。庭師の役割は日々様相を変える庭園の本質的価値を見極め、その美しさを伝統技術を駆使し、整えることといえます。しかし、伸びた枝を切る、不要な草を刈る、といった維持管理の作業だけでは自然の成長と庭園の空間の間にズレが生じてくることが多々あります。そのため、私たちは作庭技術や歴史、自然を学び、個々の庭の施主の想いや作庭した庭師の意図を尊重しつつ、今の、そして100年先の姿がより美しくなるように手入れをします。これを私たちは“育成管理（フォスターリング・fostering）”と呼びます。」

“100年先を見越した育成管理を”という理念は8代目にあたる現社長・加藤友規さんが常に社員に伝えている言葉とのこと。そしてその言葉はそのまま山の景色づくりにつながっていきます。

京都では、山の景色は日常に溶け込んでいます。特に無鄰菴などの南禅寺界隈別荘群の庭において、東山は大切な役割を果たしています。例えば、山からの景色が連続的に庭へとつながるように、山に植わっている樹種を庭にも植栽する、庭から山の稜線を鑑賞できるように庭の樹木を剪定するなど、工夫が凝らされています。

しかし、時代の変化とともに、山に入る人がなくなり、山の様子は大きく変化してきました。アカマツ林の消失やナラ枯れ被害がある一方で常緑のシイ林が拡大し、かつての四季の変化に富んだ景観が失われてきています。この状況を受けて、2007年に東山の再生を目指し、地域住民や寺社、学識経験者、行政関係者らでつくる「京都伝統文化の森推進協議会」が立ち上がりました。植彌加藤造園の加藤友規社長も専門家としてその立ち上げに協力し、清水山などの整備に取り組むこととなったのです。

庭師が取り組む、森づくり

庭師として、造園業の門をくぐった太田さんが、最初に携わった現場は京都府立「けいはんな記念公園」です。豊かな自然林が残る公園で、森林ボランティアの方から多くを学びながら、森林整備の経験を積みました。

その太田さんがより強く、森づくりに意識を持ちはじめたのは、京都市が開催している「京の森づくり技術者育成講座」に参加し、講師の高田研一先生が提唱する“自然配植”の考え方に会ったことにあります。

「林業として森林を整備するのは、木が商品であり、商品をより良くするためだと思います。しかし、庭師は木を切っても持ち出す技術もなければ売ることもし



京都府立けいはんな記念公園（上）、名勝無鄰菴（下）

ません。ただ自然の意向に沿いながら、入った時に美しく、外から見ても美しい山となるよう整備するのです。また、山の中に入ってこそ見える荒れた姿は、伐採や下草刈り、植樹といった作業を繰り返し、整えます。その時に大切なことが“自然配植”の考え方。自然の持つ豊かで多様な力をうまく生かし、木の命を無駄にせず、時間をかけて土壌や樹木、光の入り具合を観察し、必要な場所に最適な樹木を最低限に配植していく方法のことです。私たちが目指しているのは、樹種や年齢層が多様な木がそろっていて、100年、200年を経た後、内からも外からも美しい山です。その為には、ただ費用と時間を投じるのではなく、防災面に配慮しながら伐採すべき木を選定する、切った場所に差し込む光、土質、降雨時の水の流れ、土砂の動き、生長した時をしっかりと熟考した上で苗木を選び、植栽する位置を決めるなど、自然の力に寄り添い、その場所に育っていくであろう百年先の樹木の姿をイメージすることが大切です」

また、周りの木や将来の景観を担う実生木に損傷を与えないように、伐採するときも、株元から切るのではなく、わざわざ木に登り、上から少しずつ刻む、伐採した樹木は山の整備や土留め、時には登山者が休憩できるベンチの素材として使用するなど、森林空間の演出にも気を配っている太田さん。指示されたことだ

けではなく、現場の判断や気付きできめ細やかな配慮をすることも山の美しい姿を作るためには重要なことだと力強く言葉にしていました。



伐採木を利用した山道の補修作業

100年後の未来を創造する 職人の手に

「“無作為の作意”という言葉があるように、庭の手入れでは、庭師が意図を持って人の手が入っていないかのように自然にみせる作庭・育成管理をしますが、山に入ると、人には想像もつかない神秘的な力が存在することに気づかされます。剪定していなくても絡まない枝の不思議や、台風や雷などの災害によって、古木が倒れることで新しい命が芽生える天然更新など……。それらは多くの気づきや学びに繋がり、時に自分のなかに哲学的な感情さえ想起させられます。平安

時代に書かれた世界最古といわれる作庭の専門書『作庭記』のなかに、“人の立てたる石は生得の山水に勝るべからず”という言葉があります。”人の作ったものは本当の自然にはかなわない”という意味です。山の中に入ればそれを身にしみて感じられます。山は何十万年前の昔からそこにあり、生命の輪廻を繰り返し、本当の美しさとは何かを我々に教えてくれています。そこから学ぶことの大切さ、そして未来へその美しさを残



20メートル以上の樹木に登り、上の方から伐採作業をする太田さん



すために育むこの仕事に僕は誇りを感じています。」未来への想いから自然観察会や出前授業など子どもたちに向けて自然やいきものについて伝える場にも積極的に参加している太田さん。

「僕の話聞いた子どもたちの中から、僕も舌を巻くような“虫博士”や“きのこ博士”のような子どもが増えてくれたら嬉しいですね」と子どもたちが興味を持つよう、遊びを取り混ぜた授業を行うように心がけているとのこと。

そもそも大学では造園と全く関係のないバクテリアの研究をしていた太田さんが、大学で出会った中川重年教授の、その人生を表したようなゴツゴツとした手に憧れ、辿り着いた造園の世界。今では、20メートル以上もある木に登り山を育みつつ、かたや庭師として渉成園をはじめとする文化財庭園の育成管理に携わるその手は、ご自身の人生を表すような職人の手に近づいているように見えました。そして、その手に憧れ、太田さんと同じように未来をつなぐ子どもたちがきっと現れることでしょう。

会社概要

嘉永元年（1848）創業の造園会社。庭園の作庭や管理をはじめ、文化財庭園の保存修理を手がける。また、指定管理者として、京都府立「けいはんな記念公園」、京都市所有の名勝「無鄰菴」の経営に携わるなどソフトからハードまで一貫した総合造園サービス会社として注目されている。



美山宮島杣人の会 (南丹市)



日本の農山村の原風景を象徴するかやぶきの里で有名な南丹市美山町。この美山町に、室町時代、若狭街道の守りを固めるための城が築かれていた「城山」があります。この城山を中心に、自ら森の手入れの活動をされている「美山宮島杣人の会」の皆さんにお話を伺ってきました。

企業からの支援を きっかけに森の手入れを自分たちで

私たちの活動は平成28年度からはじまった「楽天ふるさとの森」事業がきっかけで始まりました。自分たちの地域の森を自分たちで手入れをしようと、チラシなどで呼びかけ、「杣人の会」のメンバーを募集しました。

メンバーの公募に踏み切ったのには、これまで地域で手入れをしてきた地元の山が、住民の高齢化で作業できる人間が年々減ってきていたという事情があります。幸い美山には、土地の魅力に惹かれて都会から移住して来られ



た方々を含め、いろんな人材がいます。私たちの呼びかけにも、林業や森林ボラン

お話を伺った方
地区の展望を背景に

ティアの経験者、学校の先生、山が好きな方など、宮島に限らず町内に拠点を置く多彩なメンバーが手を挙げてくれました。

——「城山」をかがえのない宝 として地域の素晴らしさを広めたい

森林整備の目的は、地域のシンボル「城山」を拠点に手を入れることで、地域づくりの役に立てたらという思いです。楽天の事業のほか、京都府の補助事業なども活用しながら、「緑の少年団」の子どもたちや、他地域からの学生ボランティアなども受入れてきました。広葉樹林や人工林の整備のほか、イベントとして樹名板の設置や巣箱かけ、木製ベンチの設置、薪割体験なども行いました。城山登山やしいたけの菌打ち体験などの交流イベントはインターネットなどを通じて呼びかけたところ、大阪から参加してくれた親子連れの方もおられました。「都会ではできない貴重な体験ができた」と大変喜んでもらえ、私たちとしても嬉しく思いました。

都会の人にも宮島の素晴らしさを知ってもらいたいと思っていますし、それが移住に繋がればと考えています。地域の森林を舞台にいろんな世代、地域の方々に交流体験をしてもらうことで、これからも地域の活性化の役に立てれば嬉しいです。



上／緑の少年団の椎
茸菌打ち体験
左／交流イベントでの
ベンチづくりの様子

団体プロフィール

設立：平成27年
活動地：南丹市美山町宮島
会員数：約15名
活動概要：森林整備、森林環境学習、伐採木の薪利用、都市住民との交流事業ほか



企業参加の森林づくり 活動報告

府内各地で地域と連携して森林保全の活動に取り組んでおられる企業・団体の活動について、平成30年度中に行われた活動をピックアップしてご紹介します。

(協会に送付いただいた活動報告より抜粋。一部予定を含む。)

7月14日(土)	三共精機株式会社	南丹市
7月21日(土)	株式会社SCREENホールディングス	亀岡市
8月4日(土)	エスベック株式会社	福知山市
9月1日(土)	三洋化成工業株式会社	和束町
9月2日(日)	公益財団法人日新電機グループ社会貢献基金	南丹市
9月15日(土)	株式会社SCREENホールディングス	亀岡市
9月29日(土)	株式会社村田製作所	亀岡市
10月13日(土)	株式会社島津製作所	南丹市
10月13日(土)	株式会社ドコモCS関西	宇治市
10月13日(土)	ワタキューセイモア株式会社	井手町
10月19日(金)	株式会社平和堂	和束町
10月20日(土)	グンゼ株式会社	綾部市
10月20日(土)	コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	宇治田原町
10月20日(土)	三共精機株式会社	南丹市
10月21日(日)	株式会社スリーエス	福知山市
10月21日(日)	西日本旅客鉄道株式会社	南丹市
10月25日(木)	株式会社平和堂	和束町
10月27日(土)	株式会社村田製作所	亀岡市
10月28日(日)	高砂熱学工業株式会社大阪支社	南丹市
10月28日(日)	公益財団法人日新電機グループ社会貢献基金	南丹市
11月3日(土)~4日(日)	キョーラク株式会社	南丹市
11月3日(土)	グンゼ株式会社	綾部市
11月8日(木)	オムロン株式会社京都事業所	京都市
11月10日(土)	KDDI株式会社	大山崎町
11月10日(土)	一般社団法人京都府トラック協会	京都市
11月10日(土)	京都乙訓ロータリークラブ	長岡京市
11月10日(土)	株式会社京都銀行	京都市
11月11日(日)	京都生活協同組合	亀岡市
11月15日(木)	オムロン株式会社京都事業所	京都市
11月17日(土)	エスベック株式会社	福知山市
11月17日(土)	京セラ株式会社	京田辺市
11月17日(土)	株式会社村田製作所	亀岡市
11月25日(日)	楽天株式会社	南丹市
11月29日(木)	オムロン株式会社京都事業所	京都市
12月1日(土)	オムロン株式会社 京阪奈イノベーションセンタ	井手町
12月2日(日)	株式会社京都銀行	京都市
12月8日(土)	三洋化成工業株式会社	和束町
1月19日(土)	エスベック株式会社	福知山市
2月23日(土)	株式会社虎屋京都工場	南丹市
3月3日(日)	株式会社SCREENホールディングス	亀岡市
3月10日(日)	サントリーホールディングス株式会社	天王山
3月21日(土)	キョーラク株式会社	南丹市



株式会社SCREENホールディングス



ワタキューセイモア株式会社



公益財団法人日新電機グループ社会貢献基金



京セラ株式会社



豊かな森を次世代へ

森の出前授業 活動報告

「緑の募金」の取り組みの一環として、府内の幼稚園・保育園・小中学校を対象とする森林環境教育に関する出前授業などを実施しています。これまでの活動の様子をお伝えします。

1月8日 嵯峨野高等学校

京都こすもす科専修コース校有林調査ラボ所属の生徒の皆さんが「京都の森」について学習されました。講義の後、皆さんから校有林に関する探究活動の計画や結果についてポスター発表が行われました。



1月23日 第三錦林小学校

3年生の皆さん44人が、市民グループ フィールドソサイエティの指導で、森の生きものについてや哲学の道やその周辺の歴史・文化・暮らし自然等について学習されました。



1月10日 嵯峨幼稚園

年少から年長児の皆さん150人が、雲ヶ畑コモンズ・結い林業組合の指導で森のお話を聞き、しいたけの菌打ち体験をしていただきました。「とても楽しかった」等の感想いただきました。



2月15日 衣笠山(金閣小学校)

3年生の皆さん69人が、京都森林インストラクター会の指導で、野鳥について学習されました。鳥についてのお話を聞いたあと、実際に衣笠山に巣箱を設置しました。



1月16日 葉室幼稚園

年中児の皆さん63人が、雲ヶ畑コモンズ・結い林業組合の指導で森のお話を聞いていただき、しいたけの菌打ち体験をしていただきました。収穫したしいたけを食べるのを楽しみにされています。



この「森の出前授業」は、皆様からお寄せいただいた「緑の募金」を財源として実施しています。当協会の「森の人材バンク」には、森林体験活動の指導ができる人材を登録しており、ご希望の学校にご紹介しています。実施を希望される場合は、事務局（巻末参照）までお問い合わせください。

事務局からのお知らせー活動報告ー



平成30年9月1日 京都市左京区

緑化運動ポスターコンクール表彰式開催

平成30年度緑化運動ポスターコンクールの奨励賞以上の入賞者を対象にした表彰式を府立植物園で行いました。府内の小・中・高・支援学校等から1,073点の応募があり、その中から、最優秀賞2点、優秀賞4点、奨励賞6点、努力賞10点、佳作178点が選ばれました。



亀岡市立
つづじヶ丘小学校 4年
野口 結衣さん



京都府立
田辺高等学校 3年
山田 靖人さん

平成30年9月11日 京都市左京区

公開セミナー「SDGs時代のCSRと森林」開催

企業による生物多様性や森林の保全をはじめとしたCSR活動の展開を提案し、行動につなげていただくため、聖護院を会場に公開セミナーを開催しました。

当日は、企業、NPO 団体、行政関係者など約60名の方々にご参加いただき、聖護院門跡門主 宮城泰年師の講話に続き、株式会社レスポンス アビリティ 代表取締役の足立 直樹氏にお話をいただいたほか、株式会社島津製作所、三共精機株式会社から事例発表をいただきました。



平成30年10月25日 南丹市

SDGs公開ワークショップ「企業が取り組む初めての生物多様性を考える in 森林」を開催

エスベック株式会社の土田 真奈見 マネージャーによる「企業が取り組む初めての生物多様性」についての講義に続き、公益財団法人日新電機グループ社会貢献基金の活動森林をフィールドに、生物調査・観察体験のフィールドワークを行いました。



平成30年11月3日～4日 南丹市

キョーラク百年の森基金事業「子ども森づくり・体験学習会」開催

ガールスカウト京都府連盟緑の少年団の皆さん総勢51名が参加され、秋の森で体験学習を行いました。京都森林インストラクター会の皆さんから森にある樹木についてのお話を聞きながら、地元美山の広葉樹を使って作った樹名板を取り付けました。



緑の募金ご協力をお願い

緑の募金は、地域や学校の緑化活動や未来を担う子どもたちの森林環境教育などに使われています。皆様のご協力をお願いいたします。



●郵便振替や銀行振込で

どこでも、誰でも募金ができます。

1. 郵便振替

00990-1-83253

公益社団法人 京都モデルフォレスト協会

2. 銀行振込 京都銀行府庁出張所

普通 3154305

公益社団法人 京都モデルフォレスト協会

理事長 柏原 康夫



平成30年度募金実績

15,257,861 円

ご協力ありがとうございました。

●商品購入や募金箱で

「緑の募金付き商品」を購入したり、各所に設置された「緑の募金箱」に直接募金することで、ご協力いただけます。「緑の募金付き商品」開発・販売や募金箱の設置等、様々な形でご協力いただける店舗様、事務所様も募集しています。

これからもよろしく願いいたします



ゆたかなコミュニティを求めて



京都信用金庫

京都市下京区四条通柳馬場東入

TEL(075)211-2111

<http://www.kyoto-shinkin.co.jp/>



ワタキューセイモア株式会社

発行: 公益社団法人京都モデルフォレスト協会
〒604-8424 京都市中京区西ノ京樋ノ口町123 京都府林業会館3階

TEL&FAX 075-823-0170 E-mail kyomori@kyoto-modelforest.jp

URL <https://www.kyoto-modelforest.jp>

2019年春発行

[facebook](https://www.facebook.com/KyotoModelForest) <https://www.facebook.com/KyotoModelForest>

入会案内資料をご希望の方は
ご連絡ください。